

令和元年度 多面的機能発揮促進事業  
中国四国農政局長表彰 優秀賞組織

【多面的機能支払】

かみかたちいきしげんほぜんかい おかやまけんわ けちょう  
「加三方地域資源保全会」 (岡山県和気町)

- (1) 認定農用地面積：40.8ha  
(田：40.1ha、畑：0.7ha)
- (2) 組織構成：  
1集落（農家53戸、非農家52戸）  
農業者、地域住民で構成



【地区の概要】

本地区は和気町北西部に位置し、吉備高原山脈に囲まれた中山間農業地域で、平成4年に完工した県営圃場整備事業により整備された農地では水稻栽培が盛んに行われています。

平成24年に豪雨により被災した地域の用水源であるため池提体の改修工事の際に設置された進入路を、ため池の管理用道路として維持保全しておくこととしたことをきっかけに、平成26年度に本活動組織を設立して、地域の中央部を流れる「王子川」周辺の美しい農村環境を集落で守っていく活動を始めました。

また、和気町では小型無人機・ドローンを活用したまちづくりに取り組んでいて、農地維持活動の実施状況にかかる現地確認の効率化に向けて、ドローンによる現地確認の有効性についての検討を行っており、その実証実験のために本組織の農用地を提供し、実験への協力をしています。

【主な取り組み内容】

- 農用地の法面は所有者個人で草刈り等の管理を行ってもらい、集落が管理している農用地周りの農道や水路、ため池の点検や草刈り、泥上げは交付金を活用して行っています。  
また、長寿命化の活動として地区内に11箇所あるため池への進入路（農道）を和気町から材料支給を受けて、直営施工によりコンクリート舗装しています。
- 農村環境保全活動として、緑肥のためにれんげを植栽した農用地を地元小学校の児童に開放したり、『三世だれんげ交流会』を開催して地域住民の交流の場を提供しています。交流会には毎年約30世帯、計50名余りが参加し、好評を得ています。今後も参加者が増えると期待しています。
- 集落内の農業者の高齢化が進む中、推進活動として営農に関するアンケートを実施し、集落における農業の現状と課題を構成員の間で共有し、将来の農業をどうしていくかについて話し合っています。  
今後、若い就農者を増やして農地を維持していくことが重要と考えています。



農道の草刈り



直営施工によるため池管理道の舗



れんげ畑の開放